



衆議院議員・経済産業大臣政務官 大串まさきの国政報告



特集

日本の資源外交

VOL. 15

バックナンバー配信中 **ゲノロック**
<http://www.m-ogushi.com/archive.html>

お知らせ

▶ 党員募集のご案内

みなさんも自民党に入党して、党員としていっしょに自民党を支えてみませんか？ 入党資格は、わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方、満 18 歳以上で日本国籍を有する方、他の政党の党籍を持たない方です。

党費は年額 4,000 円（家族党員は 2,000 円）です。詳しくは自民党兵庫六区支部（072-773-7601）まで、ご連絡下さい。

大串まさき プロフィール

- ▶ 昭和 41 年、兵庫県生まれ。
- ▶ 報徳学園高校卒（74 回）、東北大学卒、同大学院修了（工学修士）。IHI（株）、松下政経塾を経て北陸先端科学技術大学院大学修了（博士）。西武文理大学准教授等を歴任。
- ▶ 平成 23 年 3 月、公募により自由民主党 兵庫県第六選挙区（伊丹市・宝塚市・川西市）支部長に就任。
- ▶ 平成 24 年 12 月、第 46 回衆議院総選挙にて初当選。以降、第 47 回（平成 26 年）、第 48 回（平成 29 年）総選挙にて連続当選。現在 3 期目。
- ▶ 厚生労働副部長、文部科学副部長、国会対策副委員長などを経て、平成 29 年 4 月、第 3 次安倍第 2 次改造内閣にて経済産業大臣政務官就任。
- ▶ 平成 29 年 11 月、第 4 次安倍内閣にて経済産業大臣政務官再任。産業・通商政策・資源エネルギー政策・中小企業政策などに注力し活躍中。

自由民主党兵庫県第六選挙区支部ニュースレター 第 15 号（H30 年 3 月 15 日号）

頒布責任者

自由民主党兵庫県第六選挙区支部長 大串まさき
伊丹市中央 1-2-6 グランドハイツコワー 2-12

印刷者

株式会社プリントバック
京都府向日市森本町野田 3-1

討議資料

大串まさきの国政報告

来年度予算案の審議がスタート 社会保障改革・働き方改革を強力に推進

改革をさらに加速

平成 28 年度の補正予算は、生産性革命や人づくり革命などへの対応を中心に、九州北部豪雨の災害復旧費や防災・減災対策費などを盛り込んで 2 月 1 日に成立しました。経産省の関連でも、事業承継支援やものづくり支援など中小企業対策が盛り込まれました。

平成 29 年度総予算では、子育て支援を中心に全世代型社会保障への転換や、企業の生産性向上のための人材育成や設備投資を後押しする予算が盛り込まれています。



予算案のうち経済産業政策に関する質疑への答弁では、世耕大臣をサポート。

また、働き方改革については、同一労働・同一賃金の実現、非正規雇用労働者の処遇改善、多様な働き方や機会を提供するなど大きな改革となっています。これらの施策を推進するべく、来年度予算案は 2 月 28 日に賛成多数で衆議院で可決しました。

経済産業大臣政務官として答弁

既に予算委員会の分科会などで、政務官としての答弁がスタートしております。今国会でも、経産省関連法案については、引き続き答弁に当たらせていただきます。

これまでのように、華やかな質問の場面やテレビに映ることはありませんが、与えられた政務官としての職責をしっかりと果たして参ります。



野党議員の質問に答弁。



法案提出に先立って自民党国対にて説明。

日本の資源外交

ものづくり大国でありながら資源を有しない我が国にとって、海外から安定した資源やエネルギーを確保することは重要な課題になります。この資源外交に貢献することも経済産業大臣政務官の大切な仕事になります。

2月には南アフリカ共和国ケープタウンで開催された、アフリカ鉱業投資会議「マイニング・インダバ」に参加して参りました。基調講演（表紙写真）や、アフリカ各国の資源担当大臣との直接会談を行い、我が国の主張を伝えながらも、各国との協力の現状を確認し、今後の協力拡大のための、外交交渉を展開して参りました。



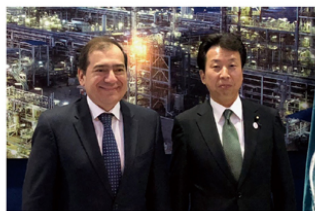
世界有数のコバルト産出国、コンゴ民主共和国のカブウェルル鉱山大臣との会談。

プラント輸出支援

南アフリカ出張と併せて、エジプト・アラブ共和国にも行って参りました。第7回日本エジプト電力調整委員会に出席して、エジプトにおける様々な発電関係のプロジェクトに関する協力の進捗状況を確認して参りました。

●石油・ガス分野

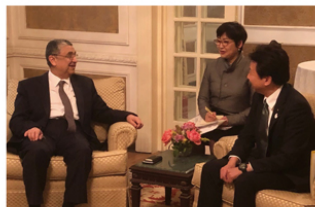
日本とエジプトの間では現在も様々なプロジェクトが進行しています。今後も石油精製プラントなど様々な協力が見込まれますので、投資環境の整備も含めて協力を依頼して参りました。



エルモッラー石油・鉱物資源大臣と会談。

●電力分野

エジプトは産油国でありながら、既に石油は純輸入国となっていて、慢性的な電力不足に悩まされています。エジプト政府としては、発電電源の多様化を進めるにあたり、我が国の発電プラントの技術に強い関心を示しています。親日家でもあるシャークル電力・再生可能エネルギー大臣に世耕大臣からの親書を手渡し、さらなる両国間の協力関係の深化を約束して参りました。



シャークル大臣との会談。

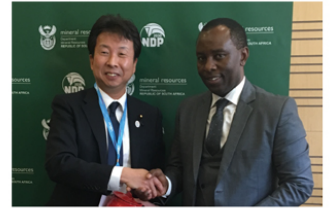
マイニング・インダバ

今回で24回目を迎えるマイニング・インダバ（インダバとはズルー語で「重要な問題を議論する会議」という意味）。我が国にとっても重要な会議で、現地で活躍する企業やJOGMEC（石油天然ガス・金属鉱物資源機構）などとも連携しながら各国代表と議論して参りました。

主には、我が国が表明した「日アフリカ資源開発イニシアティブ」の進捗の報告や、投資環境の改善や日系企業が関与する様々な資源開発プロジェクトに対する協力要請等を行いました。

●南アフリカ共和国

南アフリカは、プラチナ、マンガン、クロム等の主要供給国として、日本にとっても重要な国です。二国間関係のさらなる強化を約束して参りました。



ズワネ鉱物資源大臣との会談。

●ザンビア共和国

ザンビアは、銅やコバルト等の豊富な資源産出国です。投資の前提である電力などのインフラ整備も含めて、今後の二国間関係の強化について話し合いました。



ヤルマ鉱山・鉱物資源開発大臣との会談。

各国大臣との会談

国内にいても外交交渉は行われています。世界中から、様々な貿易の拡大について要望が寄せられています。

●オーストラリア

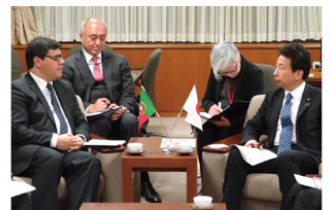
キャナバン資源・北部豪州大臣とは石炭、LNG、レアメタルといった日本にとって重要な資源の安定供給をはじめとする政策課題について、幅広く意見交換を行いました。



キャナバン大臣と会談。

●ポルトガル

ポルトガルからは、ディアス国際化担当副大臣がお越し下さいました。我が国からの投資を中心に経済交流について幅広い議論を行いました。



ディアス副大臣と会談。

●イギリス

英国からは、フェアヘッド国際貿易省閣外大臣も来訪して下さいました。原子炉の廃炉技術やブレグジット、将来的な日英自由貿易などの意見交換を行いました。



フェアヘッド大臣との会談。